

## TeamPos7000 用キーボード設定ツールマニュアル

本ドキュメントは FTEC 様向け TeamPos 7000 (TeamKey PAD、TeamMSR、PLU Keyboard、Compact POS Keyboard) の設定ツールについてのマニュアルです。

なお、本ツールご使用の際は標準 HID ドライバを使用しますので、別途カスタムドライバのインストールの必要はありません。対応 OS は以下の通りです。

対応 OS: Windows XP (32bit) 、 Windows 7 (32bit/64bit)

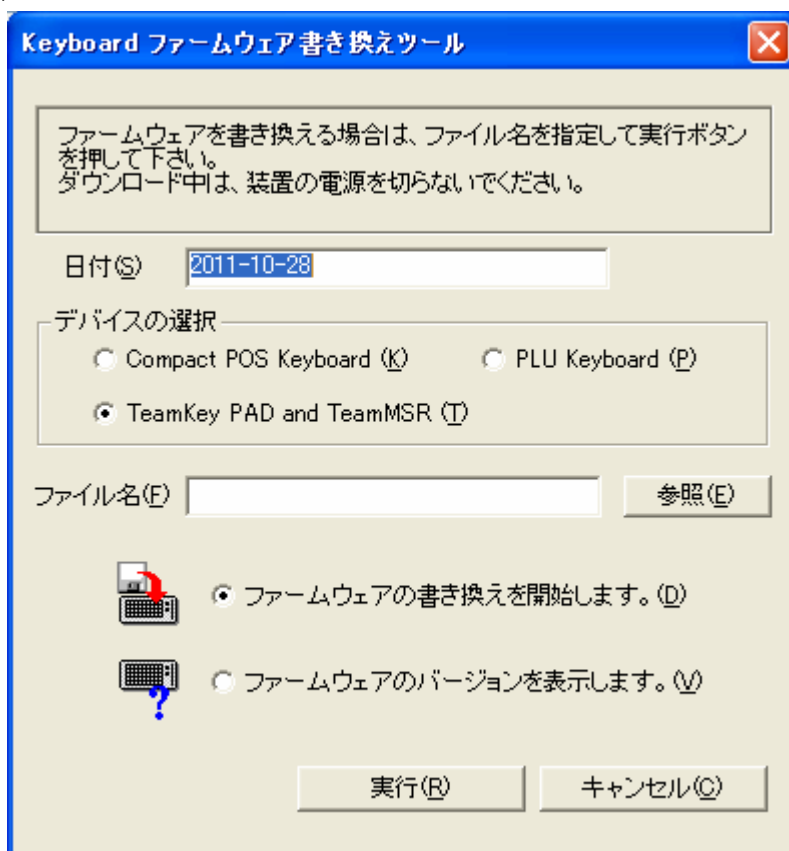
### 1、ファームウェアダウンロードツール

本ツールは TeamKey PAD、TeamMSR、PLU Keyboard、Compact POS Keyboard のファームウェアのダウンロードを行います。ファームウェアのダウンロードでは GUI でのダウンロードとバックグラウンドで動作するリモートダウンロードの 2 種類の方法に対応します。

#### 1.1 GUI を使用してのダウンロード

ファームダウンロードツールを通常起動した際は、以下のダウンロード用のダイアログが表示されます。

日本語表示:



英語表示:

Download Tool for firmware of the Keyboard

Please set the file name and push the Run button if you want to rewrite the firmware of the Panel.  
Please never turn off the power supply of the device while downloading the firmware

Data stamp: 2011-10-28

Select device

☐ Compact POS Keyboard ☐ PLU Keyboard ☒ TeamKey PAD and TeamMSR

File Name:  Reference

☒ Update the firmware of the Panel.  
☐ Confirm the version of the firmware.

Run Cancel

日付 : キーボード内に保存されるファームウェアのダウンロード日付の設定項目です。初期表示はツール起動時に標準関数である「GetLocalTime」によって取得した日付が表示されます。手動で入力することも可能です。

入力例) 2011-08-29

デバイスの選択 : ダウンロードを行うキーボードの選択項目です。

ファイル名 : ダウンロードするファームウェアファイルのフルパスが表示されます。ダウンロードファイルの指定の際は「参照」ボタンを押下し、指定してください。手動で入力することも可能です。

参照 :ダウンロードするファームウェアファイルを指定することが出来ます。

処理内容の選択 :「ファームウェアの書き換えを開始します。」を選択時には、ファームウェアのダウンロードを行います。「ファームウェアのバージョンを表示します。」を選択時にはキーボードに対してファームウェアバージョンの取得を行います。

## 1,2 リモートダウンロード

ファームダウンロードツールに引数をつけて実行した際は、ダイアログを表示せずバックグラウンドでダウンロードを実行するリモートダウンロードモードでファームウェアのダウンロードを行います。

実行方法は以下の通りです。

(ダウンロードツールのフルパス) (Target Keyboard) (FirmwareFile)

Target Keyboard:

Compact POS Keyboard = 1

TeamKey PAD、TeamMSR = 2

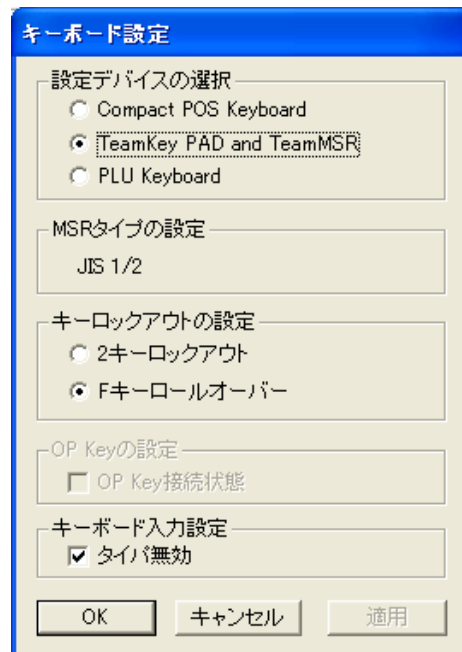
PLU Keyboard = 3

例:C:\¥FKBFrmDL.exe 3 C:\¥TestFirm¥POSKB.mhx

## 2、キーボード設定ツール

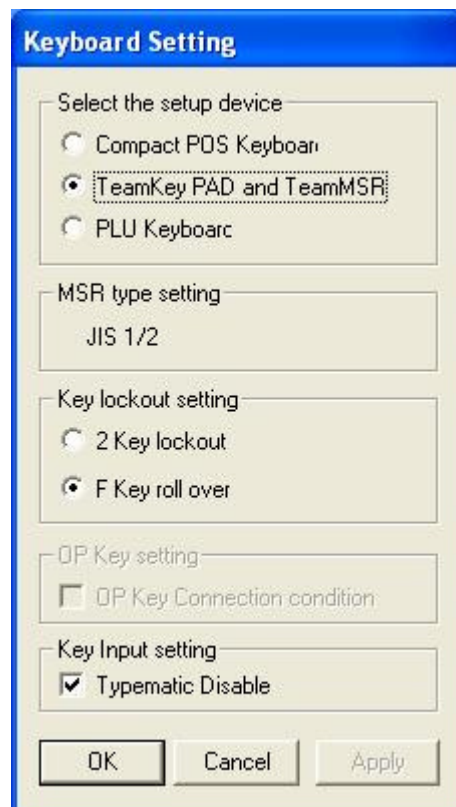
本ツールは TeamKey PAD、TeamMSR、PLU Keyboard、Compact POS Keyboard のキーロックアウトやタイパの設定を行います。本設定は以下の GUI にて設定を行います。

日本語表示:



The screenshot shows a Japanese dialog box titled "キーボード設定" (Keyboard Setting). It contains several sections with radio buttons and checkboxes. The "設定デバイスの選択" (Select the setup device) section has three options: "Compact POS Keyboard", "TeamKey PAD and TeamMSR" (selected), and "PLU Keyboard". The "MSRタイプの設定" (MSR type setting) section shows "JIS 1/2". The "キーロックアウトの設定" (Key lockout setting) section has two options: "2キーロックアウト" and "Fキーロールオーバー" (selected). The "OP Keyの設定" (OP Key setting) section has a checkbox for "OP Key接続状態" (OP Key connection status). The "キーボード入力設定" (Keyboard input setting) section has a checked checkbox for "タイパ無効" (Typematic Disable). At the bottom are buttons for "OK", "キャンセル" (Cancel), and "適用" (Apply).

英語表示:



The screenshot shows an English dialog box titled "Keyboard Setting". It contains several sections with radio buttons and checkboxes. The "Select the setup device" section has three options: "Compact POS Keyboard", "TeamKey PAD and TeamMSR" (selected), and "PLU Keyboard". The "MSR type setting" section shows "JIS 1/2". The "Key lockout setting" section has two options: "2 Key lockout" and "F Key roll over" (selected). The "OP Key setting" section has a checkbox for "OP Key Connection condition". The "Key Input setting" section has a checked checkbox for "Typematic Disable". At the bottom are buttons for "OK", "Cancel", and "Apply".

設定デバイスの選択	: キーボードの設定を行うキーボードの選択項目です。
MSR タイプの設定	: MSR タイプの設定 (ISO 1/2/3、JIS 1/2、Not connection) をデバイスから読み込んで表示します。(デバイスからのデータ読み込みはツール起動時、設定デバイス選択時に行われます。)
キーロックアウトの設定	: キーロックアウトの設定 (2 キーロックアウト、F キーロールオーバー) の選択項目です。初期表示はデバイスから設定を読み込みます。(デバイスからのデータ読み込みはツール起動時、設定デバイス選択時に行われます。)
キーボード入力設定	: キーボード入力のタイプ設定を行う設定項目です。初期表示はデバイスから設定を読み込みます。(デバイスからのデータ読み込みはツール起動時、設定デバイス選択時に行われます。)なお、本設定内容は PLU Keyboard では未対応機能であり、グレーアウトされます。

### 3、キーコードダウンロードツール

本ツールは TeamKey PAD、Compact POS Keyboard のキーコードのダウンロードを行います。キーコードのダウンロードは GUI でのダウンロードとバックグラウンドで動作するリモートダウンロードの 2 種類の方法に対応します。

#### 3.1 GUI を使用してのダウンロード

キーコードダウンロードツールを通常起動した際は、以下のようなダウンロード用のダイアログが表示されます。

日本語表示:

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "Keyboard キーマップダウンロードツール". It contains a text area with instructions in Japanese: "キーマップをダウンロードする場合は、ファイル名を指定して実行ボタンを押して下さい。ダウンロード中は、装置の電源を切らないでください。". Below this is a date field labeled "日付(S)" with the value "2011-10-28". A section titled "デバイスの選択" (Select device) contains two radio buttons: "Compact POS Keyboard(K)" and "TeamKey PAD(T)", with the latter being selected. At the bottom, there is a file name field labeled "ファイル名(F)" and a "参照(E)" (Reference) button. At the very bottom are two buttons: "実行(R)" (Run) and "キャンセル(C)" (Cancel).

英語表示:

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "Download Tool for keymap of the Keyboard". It contains a text area with instructions in English: "Please set the file name and push the Run button if you want to rewrite the key map of the Panel. Please never turn off the power supply of the device while downloading the key map". Below this is a date field labeled "Data stamp" with the value "2011-10-28". A section titled "Select device" contains two radio buttons: "Compact POS Keyboard" and "TeamKey PAD", with the latter being selected. At the bottom, there is a file name field labeled "File Name" and a "Reference" button. At the very bottom are two buttons: "Run" and "Cancel".

日付 : キーボード内に保存されるキーコードのダウンロード日付を設定できます。初期表示はツール起動時に標準関数である「GetLocalTime」によって取得した日付が表示されます。手動で入力することも可能です。

入力例) 2011-08-29

デバイスの選択 : ダウンロードを行うキーボードの選択項目です。

ファイル名 : ダウンロードするキーコードファイルのフルパスが表示されます。ダウンロードファイルの指定の際は「参照」ボタンを押下し、指定してください。手動で入力することも可能です。

参照 : ダウンロードするキーコードファイルを指定することが出来ます。

### 3.2 リモートダウンロード

キーコードダウンロードツールに引数をつけて実行した際は、ダイアログを表示せずバックグラウンドでダウンロードを実行するリモートダウンロードモードでキーコードのダウンロードを行います。

実行方法は以下の通りです。

(ダウンロードツールのパス) (デバイス番号) (処理内容) (キーマップのパス) (ログファイルパス) (日付)

例: C:\YFKBMapDL.exe /2 /C xxxmap.tbl /L xxxlog.csv /T 2011-01-01

- デバイス番号

Compact POS Keyboard : /1  
TeamKey PAD : /2

- 処理内容

/C (/c) : キーコード比較  
(引数のキーマップとデバイスのキーマップを比較します。)  
/W (/w) : キーコード比較 + キーマップダウンロード  
(引数のキーマップとデバイスのキーマップを比較して同じ場合は処理を終了し、異なっている場合は引数のキーマップをダウンロードします。)  
/F (/f) : キーマップダウンロード  
(引数のキーマップをダウンロードします。)  
/? /H (/h) : ヘルプ  
(不正なパラメータが設定されていた場合にも表示されます。)

- キーマップファイルパス

処理内容の後に一つスペースを入力して記入してください。

- ログファイルパス

/L (/l)の後に一つスペースを入力した後に記入してください。本指定がない場合、ログファイルは作成されません。

- 日付

引数に日付がある場合はその日付をキーマップダウンロード日付としてデバイスに設定します。引数に日付がない場合はツールがシステム時間を取得してデバイスに設定します。なお、日付についてはヘルプに表示されません。日付が一桁の場合は以下の例のように0を付けて必ず2桁で設定してください。また、入力の際は/T (/t)の後に一つスペースを入力して記入してください。

例) 2011 年 2 月 2 日 → /T 2011-02-02



・リターンコード/終了メッセージ

処理終了時に以下のような結果がキーマップダウンロードツールより応答されます。

リターンコード:

処理内容	0	1	2	3
/C /c	同じ版数	異なる版数	デバイス不在	その他エラー
/W /w	書換え成功	書換え失敗	デバイス不在	その他エラー
	同じ版数			
/F /f	書換え成功	書換え失敗	デバイス不在	その他エラー
/H /h /?	ヘルプ表示	-	-	-

終了メッセージ:

処理終了後以下のメッセージが出力されます。そのメッセージは入力がない場合には10秒後に自動的に終了されます。

ログファイル指定されている場合、出力されたメッセージの内容がログファイルに保存されます。(ヘルプ、ファイルコンペア成功時はログファイルに保存されません)

ログファイルが 64Kbyte を超えた場合、一世代分だけ bak の拡張子で保存されます。

復帰値が「0」のメッセージ

比較時→版数が同じ (/C)

(メッセージは表示されますが、ログには保存されません)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), same KeyMap

書換え時/強制書換え実施→成功時 (/W /F)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), update success

Help 表示の場合 (/H)

以下の Help メッセージが表示されます。

Usage: FKBmapDL [/1 | /2] [/C | /W | /F KeyMapFile] [/L LogFile] [/T YYYY-MM-DD]

Target Keyboard

/1 Compact POS Keyboard

/2 TeamKey PAD

Function

/C Compare current keymap with the following KeyMapFile.

/W Write keymap, only when differ from the following KeyMapFile.

/F Forcibly (always) write keymap (no comparing)

Log (optional)

/L record Log with the following log filename.

Time (optional)

/T Define the flash date artificially, instead of the actual flash date.

The date format is "YYYY-MM-DD". ("-" must be inserted.)

e.g. FKBmapDL /1 /W xxxmap.tbl /L xxxlog.csv /T 2011-01-01

復帰値が「1」のメッセージ

比較時 → 版数が異なる (/C)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), different KeyMap

書換え実施/強制書換え実施→失敗時 (/W /F)

キーマップダウンロードの start コマンドに失敗した場合

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名),update error, command error (start)

キーマップダウンロードの data コマンドに失敗した場合

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名),update error, command error (data)

キーマップダウンロードの end コマンドに失敗した場合

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), update error, command error (end)

復帰値が「2」のメッセージ

デバイス不在時 (/C /W /F)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), no device error

復帰値が「3」のメッセージ

その他エラー時

2 重起動された場合(/C /W /F /H)

(メッセージは表示されますが、ログには保存されません)

メッセージ = (実行時間), , , other error, overlap start error

処理内容のコードが不正な値の場合

(ログには以下のメッセージが保存され、Help メッセージのみ表示されます)

メッセージ = (実行時間), , , other error, parameter error (function /C /W /F)

デバイス番号のコードが不正な値の場合(/C /W /F)

(ログには以下のメッセージが保存され、Help メッセージのみ表示されます)

メッセージ = (実行時間), , , other error, parameter error (Target Keyboard /1 /2)

キーマップファイルが検出できなかった場合(/C /W /F)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), other error, no keymap file

キーマップデータ用のメモリ取得に失敗した場合(/C /W /F)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), other error, memory allocates error

キーマップファイルの書式が不正な場合(/C /W /F)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), other error, keymap form error

キーマップダウンロード後のダウンロード時間の更新に失敗した場合(/W /F)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名),other error, download time setting error

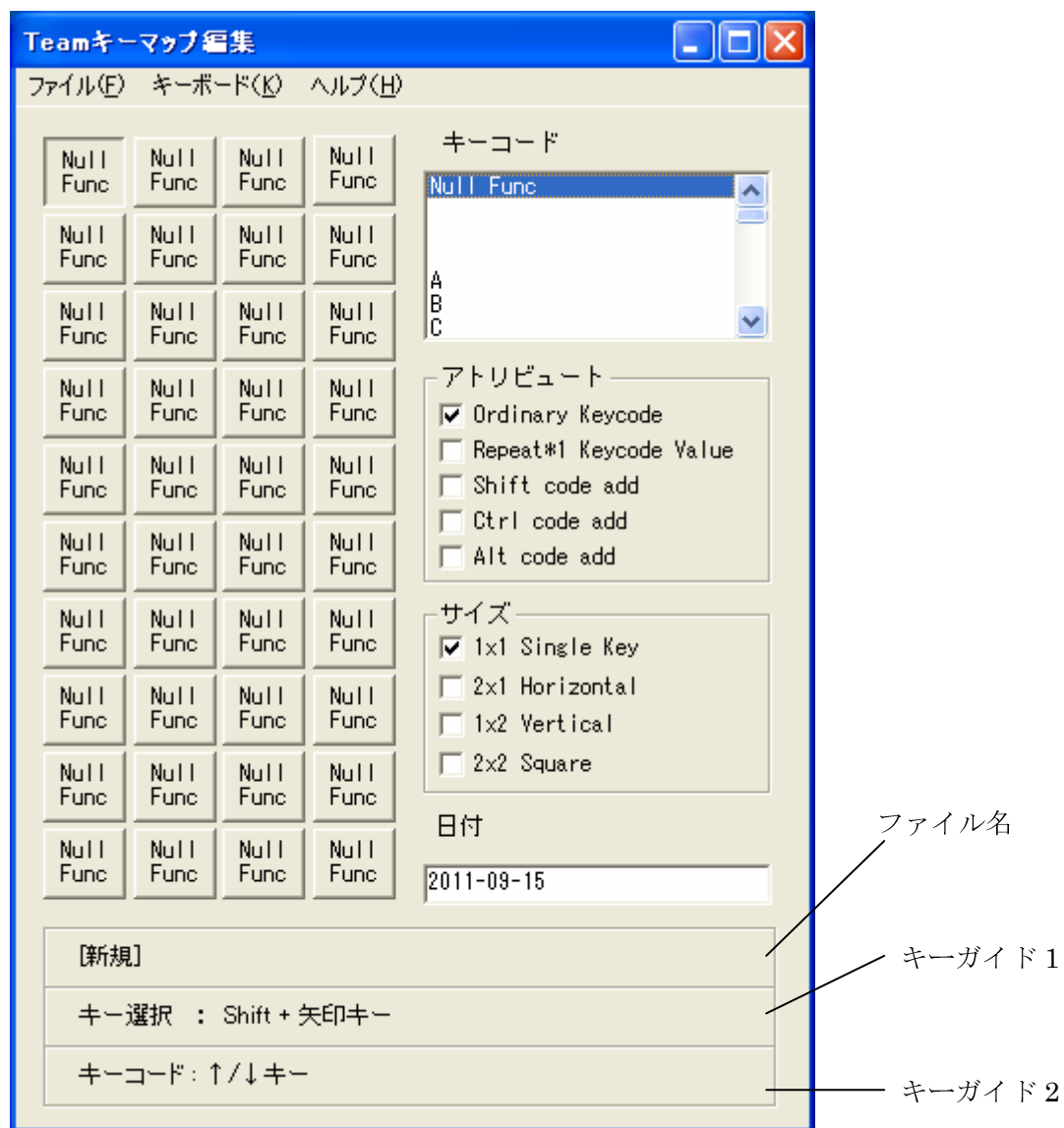
デバイスからのキーコード読み込みに失敗した場合(/C /W)

メッセージ = (実行時間),(デバイス名),(キーマップファイル名), other error, keymap upload error

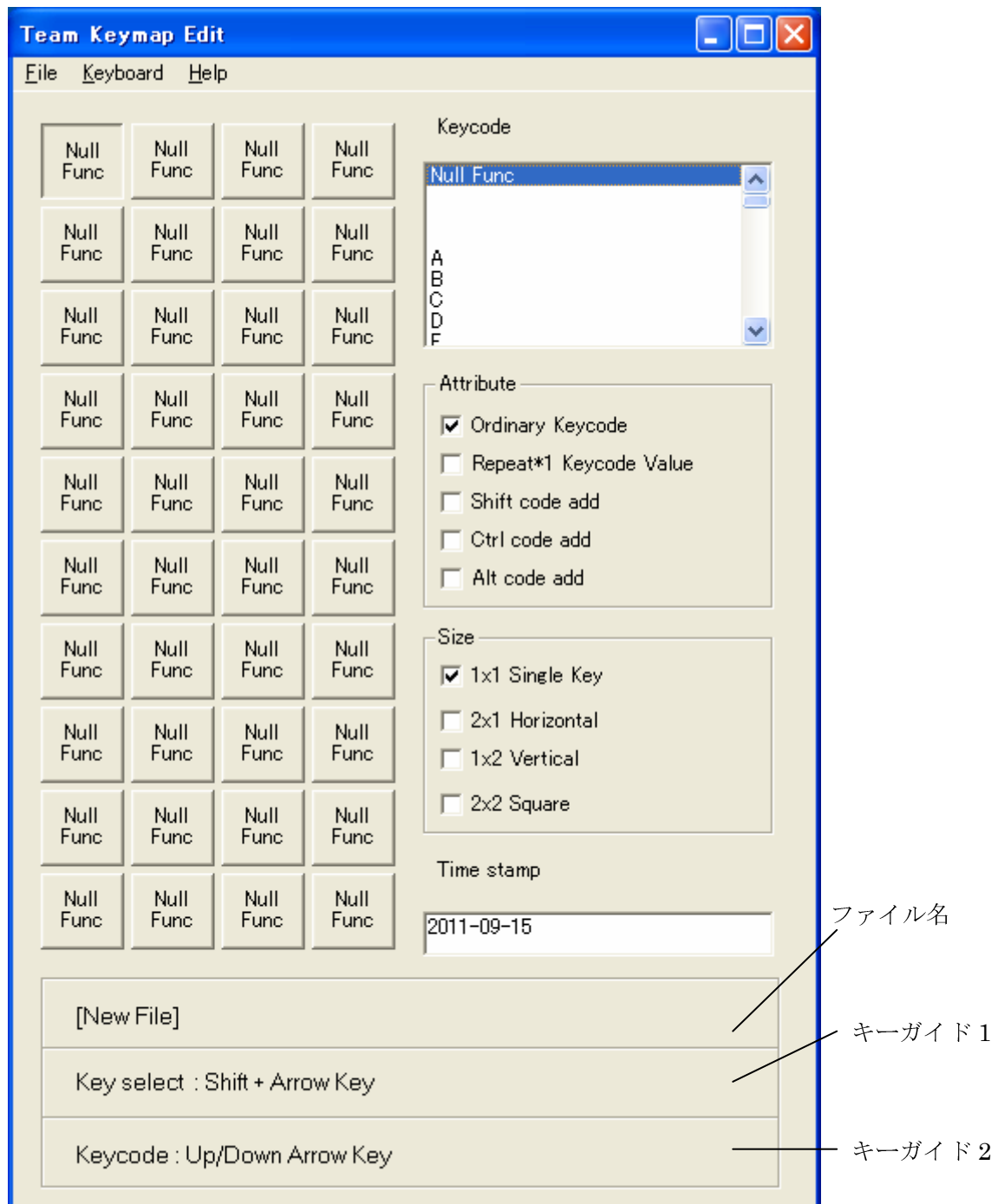
#### 4、キーマップ編集ツール

本ツールは TeamKey PAD、Compact POS Keyboard のキーマップの編集を行います。また、本ツールからキーコードのダウンロードを行うことも可能です。

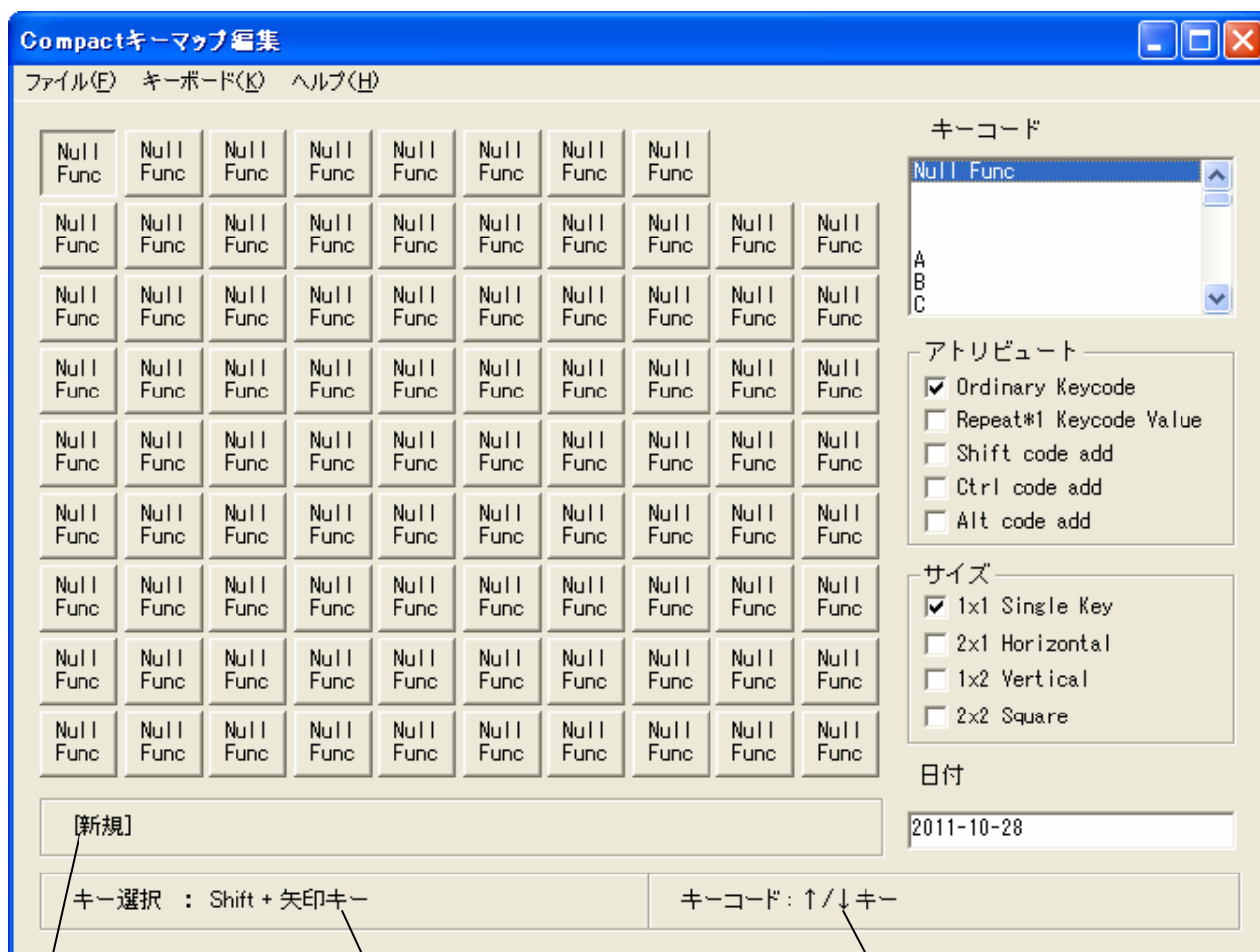
日本語表示 (TeamKey PAD) :



英語表示 (TeamKey PAD) :



日本語表示 (Compact POS Keyboard) :

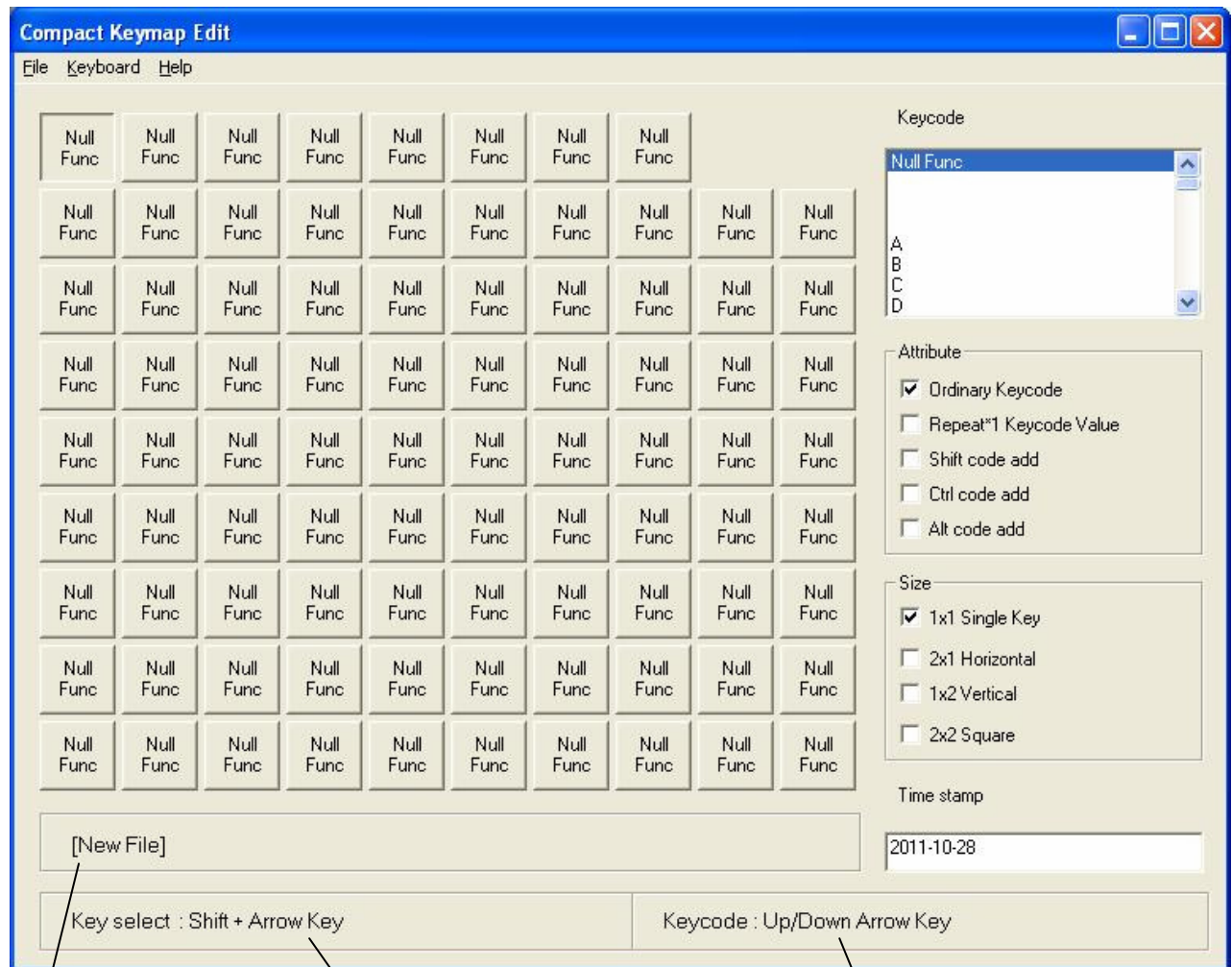


ファイル名

キーガイド 1

キーガイド 2

英語表示 (Compact POS Keyboard) :



ファイル名

キーガイド 1

キーガイド 2

## 4.1 表示内容について

ファイル名	: キーマップファイル名を表示します。起動時または新規作成(N)時には、[新規] (英語表示では[New File])と表示されます。
キーガイド 1	: キートップ選択のキーガイドを表示します。
キーガイド 2	: キーコード/アトリビュート/サイズのそれぞれのキーガイドを表示します。
キートップ	: キーコード/アトリビュート/サイズを設定するキートップを選択します。Shift キー + 矢印キーで選択します。

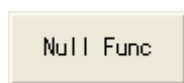


選択されていない状態



選択されている状態

キーコード	: 選択されているキーコードを選択します。マウスのクリックまたは矢印キーで選択します。なお、何も書かれていない部分にもキーコードは割り当てていますので設定にはご注意ください。
アトリビュート	: 選択されているキーのアトリビュートを選択します。チェックボックスのマウスクリックまたは矢印キーで移動後、スペースキーで選択します。
サイズ	: 選択されているキーのサイズを選択します。チェックボックスのマウスクリックまたは矢印キーで移動後、スペースキーで選択します。



2x1 Horizontal は、左のキートップと結合します。



1x2 Vertical は、上のキートップと結合します。



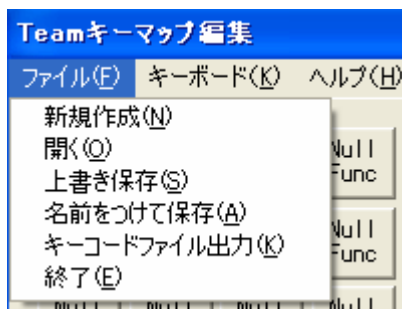
2x2 Square は、左、左上、上のキートップと結合します。

日付 : キーボード内に保存されるキーコードのダウンロード日付を設定できます。初期表示はツール起動時に標準関数である「GetLocalTime」によって取得した日付が表示されます。手動で入力することも可能です。

入力例) 2011-08-29

## 4.2 メニューについて

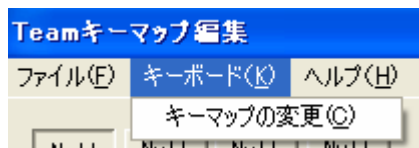
ファイル(F) : 新規作成、キーマップファイルの読み書き、キーコードファイルを出力および終了を行います。



- 新規作成(N)  
新規にキーマップを編集します。
- 開く(O)  
既存のキーマップファイルよりキーマップを読み込みます。
- 上書き保存(S)  
編集中のキーマップを上書き保存します。
- 名前を付けて保存(A)  
編集中のキーマップに名前を付けて保存します。
- キーコードファイル出力(K)  
キーコードダウンロードツールのダウンロードで使用するキーコードをファイルに出力します。
- 終了(E)  
キーマップ編集を終了します。



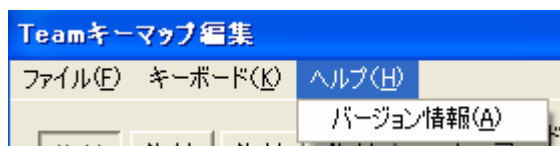
キーボード(K) :キーボードに対してキーマップのダウンロードを行います。



キーマップの変更(C)

キーボードに対して編集集中のキーマップのダウンロードを行います。

ヘルプ(H) :バージョン情報を表示します。



バージョン情報(A)

下記のツールのバージョン情報が表示されます。



#### 4.3 動作設定ファイル (KeyEdit.INI) について

動作設定ファイルはキーマップ編集ツールの動作について下記の設定が行えます。動作設定ファイルはキーマップ編集ツールと同じフォルダに入れておく必要があります。

##### [Program Information]

Language=0	: 言語指定 0=日本語、1=英語
Keycode(JPN)=Keycode.Jpn	: キーコード登録ファイル (日本語)
Keycode(ENG)=Keycode.Eng	: キーコード登録ファイル (英語)

##### [Display Font]

Name(JPN)=MS ゴシック	: 日本語表示フォント名
Size(JPN)=12	: 日本語表示フォントサイズ
Name(ENG)= MS Sans Serif	: 英語表示フォント名
Size(ENG)=12	: 英語表示フォントサイズ

#### 4.4 キーコード登録ファイル (KEYCODE.JPN/KEYCODE.ENG) について

キーコード登録ファイルはキーマップ編集ツールのキーコードに表示するキーコード設定をカスタマイズすることが出来ます。設定方法は行番号-1 がキーコードとなります。

##### 例) KEYCODE.JPN

Null Func	(1 行目の為、キーコードは 00h)
	(2 行目の為、キーコードは 01h)
	(3 行目の為、キーコードは 02h)
	(4 行目の為、キーコードは 03h)
A	(5 行目の為、キーコードは 04h)
B	(6 行目の為、キーコードは 05h)
C	(7 行目の為、キーコードは 06h)
.	.
.	.
以下省略	

#### 4.5 キーマップファイルについて

キーマップファイルはキーマップ編集ツール(メニューの開く/上書き保存/名前を付けて保存)にて設定データの保存に使用されるファイルです。記載は以下の例のようにキー番号、キーコード、アトリビュート設定値、サイズ設定値、キー名称の順番で全てのキーについての情報が表示されています。

なお、キーマップファイルはメモ帳などのテキストエディタで開くことが出来ますので、キーコード/アトリビュート・サイズの直接編集での設定や印刷などを行うことも可能です。

例)

No.	Key	Attr	Size
A01	: 62H, 00H, 00H, 0/	Ins	
A02	: 62H, 10H, 00H, 0/	Ins	
A03	: 63H, 00H, 00H, ./	Del	
A04	: 58H, 00H, 00H, R-	Enter	
B01	: 59H, 00H, 00H, 1/	End	
B02	: 5AH, 00H, 00H, 2/	DownArrow	
B03	: 5BH, 00H, 00H, 3/	PgDn	
.	.	.	.
.	.	.	.
.	.	.	.

以下省略

##### <アトリビュート設定値>

0x00 = Ordinary Keycode

0x10 = Repeat\*1 Keycode Value

0x01 = Ctrl code add

0x02 = Shift code add

0x04 = alt code add

\*アトリビュート設定は OR を取ることによって Repeat\*1 Keycode Value、Ctrl code add、Shift code add、alt code add を組み合わせて設定することが出来ます。

##### <サイズ設定値>

0x00 = 1x1 Single Key

0x01 = 2x1 Horizontal

0x02 = 1x2 Vertical

0x04 = 2x2 Square

\*サイズ設定はアトリビュート設定とは違い組み合わせ設定は行えません。

## 5、サウンド機能 DLL (FJKBDCMD.dll)

本 DLL は TeamKey PAD、Compact POS Keyboard でのブザーまたは Wave の設定を行うための DLL です。

### 5.1 TeamKey PAD 用機能

TeamKey PAD のサウンド設定ではキーボードのスピーカーよりブザーを鳴らします。そして TeamKey PAD では設定ファイル (TeamBeep.ini) の設定により 100ms/断続鳴動/連続鳴動を Wave で鳴らすことも可能です。なお、キークリック音を Wave で鳴らすことはできません。

また、本 DLL を使用してブザーの断続鳴動、連続鳴動、キー押下ブザー鳴動の設定を行っている場合は、システムからの WM\_DEVICECHANGE メッセージ受信時 (キーボードの抜き差しを行った場合など) にキーボードに対して再設定を行います。

再設定処理は本 DLL ロード中にのみ動作します。

Wave 設定の際はキーボードの抜き差しで音が途切れることは無いため、再設定はおこなわれません。

なお、WM\_DEVICECHANGE メッセージは TeamKey PAD 以外のデバイスの状態変化時にも発行されますので、そのタイミングでもブザーの再設定 (キーボードに対してのブザーコマンド送信) が行われます。

また、設定ファイルが同じフォルダに無い場合は初期設定であるスピーカーでのブザーを使用します。

#### 5.1.1 DLL 名

FJKBDCMD.dll

#### 5.1.2 EXPORT 定義関数について

##### <ブザー鳴動>

設定されたサウンドを鳴らします。設定ファイル (TeamBeep.ini) の「SelectSound」の設定値が「0」の際はシステム上の Wave で鳴らします。そして、設定ファイルの「SelectSound」の設定値が「1」もしくは、設定ファイルが同じフォルダに無い場合はキーボードのスピーカーよりブザーを鳴らします。

定義: VOID WINAPI WaveBuzzOn (LONG IMode, LONG IFreq)

IMode: 鳴動間隔

0: 100 msec

1: 断続 (100 msec 間隔)

2: 連続

IFreq: 音程

0: 600 HZ

1: 1200 HZ

2: 2400 HZ

##### <ブザー鳴動停止>

断続、連続鳴動の際にブザー鳴動を停止します。

定義: VOID WINAPI WaveBuzzOff (void)

#### <キー押下ブザー鳴動>

キー押下時に設定されたクリック音をスピーカーから鳴らします。本設定は設定ファイルの条件にかかわらずスピーカーから音を鳴らします。なお、Compact POS Keyboard も接続されている場合は Compact POS Keyboard に対しても同時に設定を行います。

定義:VOID WINAPI SetKEYClick(UINT uiFreq)

uiFreq: 音程

0:600 HZ

1:1200HZ

2:2400HZ

#### <キー押下ブザー鳴動停止>

キー押下時のブザー鳴動設定を無効にします。なお、Compact POS Keyboard も接続されている場合は Compact POS Keyboard に対しても同時に設定を行います。

定義:VOID WINAPI DisKEYClick(void)

## 5,2 Compact POS Keyboard 機能

Compact POS Keyboard のサウンド設定ではキーボードのスピーカーよりブザーを鳴らします。

また、本 DLL を使用してブザーの断続鳴動、連続鳴動、キー押下ブザー鳴動の設定を行っている場合は、システムからの WM\_DEVICECHANGE メッセージ受信時(キーボードの抜き差しを行った場合など)にキーボードに対して再設定を行います。

再設定処理は本 DLL ロード中にのみ動作します。

なお、WM\_DEVICECHANGE メッセージは Compact POS Keyboard 以外のデバイスの状態変化時にも発行されますので、そのタイミングでもブザーの再設定(キーボードに対してのブザーコマンド送信)が行われます。

5,2,1 DLL 名  
FJKBDCMD.dll

5,2,2 EXPORT 定義関数について

<ブザー鳴動>

設定されたサウンドを鳴らします。

定義:VOID WINAPI BuzzOn (UINT IMode, UINT IFreq)

IMode:鳴動間隔

0:100 msec

1:断続(100 msec 間隔)

2:連続

IFreq: 音程

0:600 HZ

1:1200HZ

2:2400HZ

<ブザー鳴動停止>

断続、連続鳴動の際にブザー鳴動を停止します。

定義:VOID WINAPI BuzzOff (void)

<キー押下ブザー鳴動>

キー押下時に設定されたクリック音をスピーカーから鳴らします。本設定は設定ファイルの条件にかかわらずスピーカーから音を鳴らします。なお、TeamKey PAD も接続されている場合は TeamKey PAD に対しても同時に設定を行います。

定義:VOID WINAPI SetKEYClick(UINT uiFreq)

uiFreq: 音程

0:600 HZ

1:1200HZ

2:2400HZ

<キー押下ブザー鳴動停止>

キー押下時のブザー鳴動設定を無効にします。なお、TeamKey PAD も接続されている場合は TeamKey PAD に対しても同時に設定を行います。

定義:VOID WINAPI DisKEYClick(void)

### 5,3 使用方法

TeamPos7000 は標準 HID ドライバを使用するため、別途カスタムドライバインストールは行いません。その為、ブザー設定ファイル(下記の 9 つのファイル)は、お客様でご自由な場所に保存して、使用してください。なお、ブザー設定ファイルは全て同じフォルダに保存してください。

•FJKBDCMD.dll	サウンド機能 API 用 DLL
•FKBBuzzChk.exe	WM_DEVICECHANGE 監視アプリケーション(新規)
•FjBz06A.wav	FTEC 様ご指定 Wave ファイル
•FjBz06B.wav	FTEC 様ご指定 Wave ファイル
•FjBz12A.wav	FTEC 様ご指定 Wave ファイル
•FjBz12B.wav	FTEC 様ご指定 Wave ファイル
•FjBz24A.wav	FTEC 様ご指定 Wave ファイル
•FjBz24B.wav	FTEC 様ご指定 Wave ファイル
•TeamBeep.ini	TeamKey PAD 用設定ファイル

### 6、使用上の注意事項

- \* 同一種類のキーボードが同時接続されている場合、ツールでは区別がつかなくなるため、同一種類のキーボードの同時接続は行わないでください。  
なお、TeamKey PAD と TeamMSR は同じ ID のため、TeamKey PAD と TeamMSR を同時接続は行わないでください。
- \* 設定に失敗する場合がありますので、設定ツール(ファームウェアダウンロードツール、キーボード設定ツール、キーコードダウンロードツール、キーマップ編集ツール)操作中にスタンバイ、休止状態、再起動、プラグアンドプレイは行わないでください。
- \* Windows7 では 32bit/64bit があります。本ツールも 32bit/64bit 用がありますので、使用される環境によって使い分けてください。